

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コネクト×さいころ		
○保護者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3カ所	(回答数) 3カ所
○事業者向け自己評価表作成日	2026年5月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士が支援方法を提案できる	体格を考慮した学習しやすい姿勢の取り方や学員の提案、発達の課題面に対して、学校教材の工夫や廃材などを用いた支援の提供を行っている	学員については既存以外に提供できるよう情報収集に努める
2	保育所等を利用する児童は、併設する児発・放デイの事業所のため児童の個性を把握した状態で訪問対応ができる	通所先事業所の強みを生かして、ご家族とのコミュニケーションや連携が取りやすい。また、学校での課題に向けて事業所支援として取り組むことができる	通所先と訪問先(学校、保育園)で情報共有できる時間を設けられるよう調整したい
3	安心して相談できる関係性を構築する	先生方の支援方法を理解し、一緒に考える姿勢を大切にしながら先生や保護者の思いを受け止めながら支援を行う	訪問先に合わせたフィードバックに務める ゆっくり話す時間が設けられる日に訪問する

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員の人数が少なく、訪問希望の日程調整や新規の受け入れに制限がある	年度ごとに対応できる人数に制限をかける形で、支援の質を落とすことなく支援を続ける	研修等を行い、人員増加を検討する
2	保育所等の多様化するニーズに対して、専門スキルが求められることが懸念される	記録時間やフィードバックに時間を要することがある	自立支援協議会が開催する会議や他事業所の取り組みなどを参考にして取り組む
3	訪問の日程調整等に時間を要し、訪問先のニーズに答えられない場合がある	必要な情報がタイムリーに伝わらないケースがある	支援内容や訪問スケジュールを調整していけるよう、ICTを活用した連携を取り入れたい